

食薬資源由来新規機能成分の探索 と分子メカニズム解明

磯田博子教授 (筑波大学生命環境科学系 / 北アフリカ研究センター)

日時: 10月17日(月) 14:00~15:00

場所: バイオサイエンス教育研究センター2F セミナー室

バイオアッセイ (Bioassay) 技術は生理活性物質の機能性評価に有用な手法である。

ヒト及び動物由来細胞を用いたバイオアッセイは、疾患のモデルを試験管レベルで再現することにより、生体に及ぼす影響を推測するために利用されている。これまで、アルツハイマー症やパーキンソン病、糖尿病や肥満、アレルギー、メラニン産生などの疾患モデルとしてのバイオアッセイを行い、いくつかの高い抗酸化性を有する機能性成分を見出し、プロテオミクス・メタボロミクス・マイクロアレイなど網羅的な解析により、酸化ストレスに関連するバイオマーカーの検出や細胞内情報伝達系を明らかにした。